

社民党

# 渡辺みのる通信

● 第 37 号 ●

発行日 / 2016年(平成28)10月(9月議会号)  
 発行 / 渡辺みのる後援会  
 石川町大字北山形字引地1  
 電話&FAX0247-26-6994  
 携帯090-2798-0434



## 写真説明

シロヨメナ、山地の木陰や山道のわきによくみられる多年草。9月から10月に白色の花をつける。耕作している畑の土手に群生して咲いていたのをパチリ。

## 9月5日から新庁舎で業務開始 新庁舎議場で、コンサート

9月5日(月)から字長久保185の4の新庁舎で、業務が開始されました。9月議会の開会日9月8日(木)に開場式が行われ、その後、石川フィルハーモニックの皆さんによる議場コンサートが行われ、「石川町民の歌」「アイネ クライネ ナハトムジーク」「花は咲く」の3曲が演奏されました。

9月議会は8日から15日までの8日間、27件の議案が審議され、全議案可決、認定、同意がされました。

平成27年度の一般会計決算では、剰余金が4億4千万円となり、28年度に繰越しました。

新庁舎の建設、学校統合、学校の耐震大規模改修など大型の事業も進み、今後は市街地の再生や雇用創出、若者定住政策、高齢者対策、教育や農業の振興などの課題に取り組んでいかなければなりません。

新教育委員の選任で、字南町の鈴木后世さんと大字曲木の草野文明さんが同意されました。

## 新石川小屋内運動場建築工事の 変更契約の締結に反対する

9月議会で、「新石川小学校屋内運動場建築工事請負変更契約の締結」の議案が提案されました。変更内容は基礎工事で転石・岩盤が出たので撤去工事を追加、外周部工事及びトップライト工事の変更で、1千4百万円を増額契約するものです。

渡辺議員はこの変更締結に反対しましたが賛成9、反対4で可決されました。反対理由は次の3つです。第1は変更が生じたのは4月5月であり、岩盤や転石の状況は確認できず、今まで議会には一切説明がされず、議会軽視である。第2は根拠となる転石等の数量を示す資料が不十分である。第3は大きな建築を担当する部署に土木や建築の技術者を配置しないため、同じことが繰り返していることである。先の新石川小建築基礎工事でも、多くの転石岩盤により、多額の増額、工期延長などがありました。

今回も工期を来年2月20日まで延期しました。



▲建築が進む屋内運動場

◆一般質問から◆

**渡辺：雇用促進住宅の取得は改修費用、入居見通しなどを見て判断すべき  
町長：耐震診断の結果が出た時点で検討する**

雇用促進住宅石川宿舎は昭和56年建築、築34年、鉄筋コンクリート造、5階建(エレベータなし)、3DK 80戸(20戸×4棟)の建物である。国は平成33年までに譲渡等を完了させるため、町に取得を打診している。町は平成14年に取得しない方針を示したが、今回取得を検討すると方針を転換した。現在、耐震診断を委託し、結果を待っている状況である。

**渡辺** 取得検討に方針転換した理由は何か。

**町長** 町営住宅が老朽化して、若者や子育て世帯のニーズに応えられないので、雇用促進住宅を活用したい。

**渡辺** 前の答弁で、データを見て総合的に判断するとあったが取得しないこともあるのか。

**町長** 取得しない結論もあります。大方、取得できると考えています。

**渡辺** 購入後の改修経費はいくらか。

**町長** 現時点では費用の算出は困難です。



◀白いつつきりした花のセンブリ

**渡辺** 全国的にはアスベストを使用している建物もあるが、石川宿舎はどうか。

**町長** アスベストの情報は入っていません。

**渡辺** 購入の決定は議会の議決案件になるのか。

**町長** 議決案件にはなりません。

**渡辺** 取得金額が2百3万3千円であるが、改修や解体費用がついているのだから、議決案件にしてよいのではないか。

**町長** 議決案件ではありません。議会には十分説明します。

**渡辺** 家賃の考え方は

**町長** 民間の賃貸住宅の均衡を考慮して決めていきたい。

👓子どもの未来のために👓

**貧富の格差と子どもの貧困が拡大する**

オリンピックとパラリンピックが終わりました。パラリンピックでは、200を超える世界新記録が出たそうです。そのパラリンピックの始まりは、戦争で障がいを負った兵士のリハビリだったそうです。今も、戦争やさまざまな争いによって、命を失ったり、障がいを負ったりしている兵士がいるという現実があります。そして、砲弾の飛び交う中逃げまどい、命の危険にさらされているさらに多くの人たちがいます。

先月、家が空襲の被害にあって助け出され、放心状態のまま救急車に乗せられた少年の姿が、世界中に報道されました。その顔はほこりにまみれ、頭から血が流れていました。あの少年は、どのように成長していくのでしょうか。

東北の自衛隊では、南スーダンに「駆け付け警護」に出かける準備がすすんでいます。そのため、岩手県の大水害の際は、小規模の災害救助しかできなかったと聞きます。それを聞いて、複雑な気持ちになりました。争いを防ぐための必要条件は、「貧富の格差を小さくすること」「子どもが等しく教育を受けられること」だと言われています。実は、この当たり前のことが、日本ではできなくなってきているのです。(K, H)

**渡辺** 入居の見込みはどう見込んでいるか。

**町長** 町営住宅は入居制限があり、若者は比較的新しいところを好むので、需要が見込めると判断しています。

**渡辺** 解体費用はいくらか

**町長** 4棟で約2億円と考えています。



◀7月30日、福島市71周年原水禁世大会福島大会デモ行進

**渡辺** 取得は改修費用、施設の運営収支、解体費用、入居見通し、入居率など見てから判断すべきと思うが。

**町長** 調査結果が出た時点で判断します。

**渡辺** 旧県合庁跡に建設予定の町営住宅の建設費は。

**町長** 1戸、外構を含めて2千5百万円です。

**渡辺** 10戸、20戸と計画的に建築する方が、着実で良いのではないか。若者の定住政策なら、住宅取得支援策の強化でないか。1棟ごとの活用でなく、4棟の活用方針を示すべきである。町が取得せず、民間に任せられた方がよいのではないか。

**町長** 調査結果が出た時点で検討したい。



◆一般質問から◆

**渡辺：公衆トイレや公共施設トイレに大人用介護ベッドの設置を  
町長：ユニバーサルデザインの考えが必要、できるところから整備**



◀春の花であるヒメジヨオンが咲いている

**渡辺** 公衆トイレや公共施設トイレに大人用介護ベッドの設置の考えは。

**町長** これからはすべての人を視野に入れたユニバーサルデザインの考えが必要です。できるところからすべての人に配慮した施設整備を推進し、人にやさしい町づくりに取り組みます。

**渡辺** これから整備する文教福祉複合施設への設置は。

**町長** 考慮していきたい。

**渡辺** ユニバーサルデザインの推進は、行政での推進が大事で、職員への浸透を図る研修や取り組みを行う考えは。

**町長** 検討していきます。



▲稲刈り真っ最中(板橋字道ヶ作)

**渡辺：新庁舎ができ、町政運営の考えは**

**町長：若者が夢と希望を持ち、高齢者が安心して生活できる町づくりをする**

**渡辺** 念願だった新庁舎が完成し、9月5日から業務を開始し、これから何十年と町行政の拠点となる場所に立って、町長の町政運営の考えを伺う

**町長** これを機に、なお一層の町民サービスの向上に努めます。若者が夢と希望を持てるようなまちづくりと安心して高齢者が住めるようなまちづくりを考えています。



**子宮頸がんワクチン薬害訴訟  
7月少女63人が提訴**

今年の7月28日、子宮頸がんワクチンの接種による深刻な反応被蓋を受けた被害者平均18歳の少女63人が国及び製薬会社2社に対して、損害賠償請求訴訟を東京・名古屋・大阪・福岡の各地裁に提訴しました。

目的は①被告らの法的責任（公権力によるワクチン接種推進、費用負担）、②被害者の健康回復と真の救済（賠償と恒久対策）、③薬害の再発防止（承認時にすでに危険性が明らかになっていた「有用性のない医薬品」の承認）の3つです。

子宮頸がんはワクチンで予防できるとして、国や自治体、医療関係者等がワクチン接種を積極的に進めてきました。石川町でも平成23年から予防接種を実施してきました。

しかし、同25年6月になって、厚労省は多くの副反応者が続出したことにより、ワクチンの積極勧奨の中止を発表しました。これまでの接種者は3,339万人で、副反応報告数は2,906人。内重篤数1,572人、石川町の接種者数（25年8月まで）282人、副作用報告なしとなっています。

繰り返される薬害の発生に怒りを覚えます。人生が狂わされた少女たちを思う時、金もうけに走る製薬会社と承認、奨励した国の責任は決して許されるものではないと思う。

**渡辺** 加納町政3期目後半2年間の重点課題を伺う。

**町長** 人口減少対策、まちなか再生計画の推進、子育て世帯の定住環境の整備、若者の住宅整備、企業立地整備、ふるさと教育、農業・商業の振興、鉱物館整備、沢井の圃場整備、石川バイパス早期完成を目指します。

**4件の請願が採択され  
国の関係機関に意見書を送付**

今議会で、4件の請願が審議され、すべてが採択され、国の関係機関に意見書を送付しました。

- ①「慎重な憲法論議を求める」意見書の提出を求める請願
- ②「子ども貧困対策の推進と強化を求める」意見書の提出を求める請願
- ③「介護保険制度のサービス縮小を行わないことを求める」意見書の提出を求める請願
- ④「地方財政の充実・強化を求める」意見書提出を求める請願

## 平成27年度決算の状況(一般会計)

# 歳入87億4千万円、歳出81億6千万円、実質収支(剰余金)4億4千万円

決算から見える財政状況とお金の使い方

### (1) 教育費の推移

| 項目     | 平成20年度  | 平成23年度  | 平成27年度    |
|--------|---------|---------|-----------|
| 教育費全体  | 532,748 | 920,714 | 1,804,908 |
| 内学校教育費 | 184,579 | 617,097 | 1,462,110 |
| 内社会教育費 | 128,544 | 114,959 | 89,679    |
| 内社会体育費 | 64,294  | 74,436  | 70,544    |

- ①学校教育費は統合石川小学校建築で大きく伸びている。
- ②社会教育費は減少し続けている。平成21年度から地区公民館が自治センターとなり、自治振興費で支出している。

### (2) 財政調整積立金残高

| 年度     | 金額      |
|--------|---------|
| 平成20年度 | 1億5千万円  |
| 平成23年度 | 5億1千万円  |
| 平成27年度 | 12億4千万円 |

### (3) 地方債残高(借金)

| 年度     | 金額      |
|--------|---------|
| 平成20年度 | 51億2千万円 |
| 平成23年度 | 47億6千万円 |
| 平成27年度 | 60億1千万円 |

### (4) 道路橋梁費の推移

| 年度     | 金額     |
|--------|--------|
| 平成20年度 | 2億円    |
| 平成23年度 | 3億2千万円 |
| 平成27年度 | 5億円    |

道路橋梁費は町道や橋の維持管理及び新設改良の経費です。平成27年度の新設改良は17路線を実施しました。

### (5) 民生費の推移

| 年度     | 金額      |
|--------|---------|
| 平成20年度 | 15億4千万円 |
| 平成23年度 | 18億7千万円 |
| 平成27年度 | 19億6千万円 |

民生費は社会福祉費(老人ホーム費、障害福祉費、老人福祉費、介護保険費)と児童福祉費(総務費、児童措置費、保育所費、児童館費)です。



▲淡いピンクの花をつけるコシオガマ

### 町内食品放射性物質簡易測定結果(単位ベクレル/kg)

#### 4月分から

- 原木シイタケ(坂路) 164
- コシアブラ(山形) 396.1
- ワラビ(曲木、板橋) 検出せず
- タケノコ(中田、下泉) 検出せず

#### 6月分から

- ウメ(形見、新屋敷) 検出せず
- 玉ねぎ(飛ヶ作) 検出せず
- 大根(下泉) 検出せず
- キュウリ(新屋敷) 検出せず

#### 7月分から

- チチタケ(形見) 3732
  - ナス(新屋敷、新覚) 検出せず
  - トマト(新屋敷) 検出せず
  - ジャガイモ(飛ヶ作) 検出せず
  - 桃(赤羽) 検出せず
- 検出せずは、25ベクレル未満です。(石川町ホームページより)

## 郷土の日本画家 角田磐谷

秋は、文化の秋、芸術の秋と言われ、各地で文化祭や展示会、音楽祭などが開かれますが、石川町が生んだ日本画家角田磐谷先生を紹介します。

先生は、明治22年(1889)5月5日、石川町大字谷沢に角田豊之助、テフの2男として生まれ。本名は源寿。15歳で、福島市の文晁派画家長尾月仙の内弟子となる。明治39年17歳で上京し、高森碎巖に師事。20歳で寺崎広業の天籟画塾に入門。師広業より磐谷の画号を頂く。

師広業が没した後は新たな師を求めず、帝展入選を目指し、画業に励む。

37歳「春の若木」で入選を果たし、その後帝展入選6回。文展入選2回、外務省・鉄道省買上げなど精力的に活躍する。

又、大正8年、30歳の時、福陽美術会設立に参画。昭和20年、石川郡須釜の大野長治方に疎開。翌21

年全国日本画協会福島県支部長、県展審査員を務め、県下の日本画団体の指導にも携わる。同24年、日展委員に推される。

同25年、須賀川市和田に移転。「牡丹の季節、先生の姿を目にしない日はなかった」と言われるように日々、牡丹を訪ね、スケッチに奔走。「牡丹の磐谷」と言われる所以である。

昭和39年、県文化功労賞を授与され、画業50周年回顧自選展を中合デパートで開催する。同45年81歳で没。石川地方にも多くの作品が残されており、町の宝物となっている。▲磐谷の牡丹図(昭和31)年

